

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

(愛媛県立今治南高等学校)

学校番号 ( 15 )

評価実施日		令和7年2月19日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	佐伯由紀子	学校評議員	
	大澤 誠二	学校評議員	
	八木 良太	学校評議員	
	赤瀬 臣弥	学校評議員	
	高井 剛	学校評議員	
	田窪 鉄也	地域代表、人権教育指導員	
	白川 亨	保護者代表、PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習活動 教職員全員がICT機器を利用している点が評価できる。今後も積極的に活用し、生徒に分かりやすい授業を実践してほしい。教職員が更に自信を持って自らと評価できる実践を期待する。学習習慣化の生徒の自己評価が大きく下がっている点が気になるが、メタ認知力の高まりととらえることもできる。教員・保護者の評価上昇が見られるので更に推進をしたらよい。</p> <p>(2) 生徒指導 生徒は挨拶、会釈をよくしている。全体的に校内が落ち着いているように思う。校外でも交通ルールを守っている生徒が多い。校則等については時代とともに柔軟に考え、変えていくことも必要だ。また、生徒一人一人に寄り添い、人間関係づくりを基盤とした生徒指導を進めてほしい。</p> <p>(3) 進路指導 進学・就職模試の受験や資格取得などに意欲的に取り組む生徒が増えている。キャリア教育の充実、個に応じた丁寧な進路指導の結果として、進路選択の幅が広がり、進学先・就職先が多様になっている点が望ましい。進路先が未定の生徒への配慮をお願いしたい。</p> <p>(4) 特別活動 特別活動の具体的目標は全て達成している。生徒数の減少により、部活動の指導は大変だと思うが、モチベーションを高く持ち、引き続き指導をお願いしたい。地域だけでなく各方面に向き、幼稚園から高齢者まで幅広く交流を重ねており、地域への貢献度が大きい。各種の活動がHPに取り上げられており、活動の様子がよく分かる。</p> <p>(5) 豊かな人間性 いじめや暴力、人権侵害を許さないという生徒の回答率が高い。地域の中で高齢者に笑顔で接している姿を見掛ける。カウンセリングマインドを取り入れた教育相談や人権だよりの発行など、日頃から人権意識の高揚に努めている成果だと思う。生徒同士のトラブルやいじめは表面化しにくいので、些細な変化を見逃さずに生徒と接することを心掛けてほしい。</p> <p>(6) 学校運営 校長のリーダーシップのもと、教職員のよりよい組織が作り上げられている。会議時間の短縮もさることながら、職場環境改善に努めてほしい。場合によっては教職員の忙しさを生徒・保護者にアピールする必要もある。事件や事故が起こった場合の対応についてはマニュアルが形式的なものにならないよう再確認し、日頃から共通認識を持って取り組んでほしい。</p>	<p>ICT機器活用推進のため日常的に学び合いの場を設ける。教職員が自信を持って教育活動を行えるよう励ましの言葉を掛け合うなど、教職員同士の支援体制を整える。家庭学習の習慣化に向けて目標と計画の意義を理解させ、適切な助言をしていく。</p> <p>良好な人間関係づくりができるよう、全教職員がそれぞれの立場で協力して生徒を支援する。校則については、生徒や保護者も含めて検討を始めたが、次年度は一層ルールメイキングを進めていく。</p> <p>今年度は四年制大学への進学者が増えた。進学や就職の試験に自信を持って臨むことができるように、資格取得の促進や探究活動の活性化、キャリア学習の充実に取り組む。</p> <p>部活動の精選を進めながら、魅can部だけでなく部活動の活性化を図り、HP等で学校の魅力を積極的に発信していく。今年度新しく始まったプロジェクトやボランティア活動を次年度も継続し、地域貢献に努めていく。</p> <p>生徒理解に努め、一人一人に寄り添った指導を行う。いじめにつながるトラブルは早期に発見し、チームで対応する。地域や家庭との連携を図り、校内外の様々な活動を通して、自他を尊重する意識を高め、良好な人間関係づくりを支援する。</p> <p>面談等を通して教職員の悩みの把握に努めるとともに、風通しの良い職場環境づくりを心掛ける。教職員全員が学校防災マニュアルの内容を共通理解して危機管理意識を高め、適宜マニュアルの見直しも進めながら、安全安心な学校づくりに取り組む。</p>